



本庄  
すまいるの素  
×  
楽しみと  
魅力

# 本庄まつり

絢爛豪華な山車が中山道をゆく  
北関東随一の伝統ある祭り

本庄の鎮守のお祭りとして親しまれている金鑽神社の大祭で、毎年11月2・3日に開催されています。金箔や漆彩色で仕上げられた見事な彫刻や精巧な彫金、華麗な文様の緞帳で飾られた山車が、お囃子に合わせ、中山道を巡行します。夜には、提灯の灯りのもとで幻想的な雰囲気。にはぼんプラザで各町の山車が一堂に会する様子は圧巻です。また、各町でのたたき合いも見どころです。



Honjo Festival, a grand festival of Kanasana Shrine, is well-known as a festival for the local deity of Honjo, and is held every 2nd and 3rd of November. Floats are decorated with beautiful sculptures finished with gold-leaf and lacquer as well as thick curtains with magnificent patterns, and they parade along the Nakasendo road with the festival music. The scene that floats of towns getting together at HANIPON plaza is spectacular. The Tatakiai of towns, in which musical players on the floats vie in playing the festival music when a float meets another float on the street, is another feature of the festival.

## 本庄すまいる人 [interview]

平成29年度当番町交渉委員長  
小堺 康永さん

私たちにとって、本庄まつりは「晴れの日」であり、「元旦」のようなもの。学校や仕事では味わえない老若男女が集うコミュニティの場であります。太鼓練習は約3か月前から開始。最後の1か月はほぼ毎日練習を重ね、晴れの舞台へとあがります。まつり参加者も見物客も、子どもも大人も、笑顔になれるのが、本庄まつりの魅力です。



みこしとみこしのぶつかり合い  
「ケンカみこし」の異名をとる祭り

八坂神社の大祭で、毎年、「海の日」の直前の日曜日に行われています。9基のみこしが繰り出し、にぎやかに町内を練り歩く同まつりの代名詞といえるのが、夕刻から始まる「ケンカみこし」です。2基・3基のみこしがトンボを組み合わせ、威勢のいい掛け声とともにぶつかり合う様子は迫力満点。荒々しく活気あふれる担ぎ合いは必見です。



Kodama Summer Festival is a grand festival of Yasaka Shrine held on the Sunday just before each Marine Day (third Monday of July.) The Kenka Mikoshi (fighting portable shrine,) starting from the evening, is synonymous with the festival, in which nine portable shrines parade through the town in a lively manner. It is quite powerful to see a few portable shrines cross their poles and bump into each other with a yell. You do not want to miss seeing the wild collision of portable shrines.

## 本庄すまいる人 [interview]

平成29年度こだま夏まつり  
連合青年会長  
中澤 孝雄さん

初めてまつりに参加したのは22年前。児玉に引っ越してきたばかりの私に、まつりに参加してみないかと声をかけてもらったのがきっかけでした。まつりを通して、児玉の人々とコミュニケーションがとれ、その後も人の輪が広がっていき、児玉に馴染んでいきました。今では、年に1度のまつりが待ち遠しく、まつりが近づくとき気持ちが高ぶりますね。

